

[1]地すべり自動監視システム

地すべりの滑動が活発であったため、地すべりの動きを遠隔地でリアルタイムに観測、監視するシステムを構築し、警報基準値の設定等を行って安全を確保した。

①伸縮計、雨量計

伸縮計を地すべり頭部に5基、末端部に1基、雨量計を地区内に1基設置し、自動観測した計測値をリアルタイムでWEBで監視した。

伸縮計の計測値が下表の警報基準値（今回は警戒基準以上）を超過した場合及び雨量が時間20mm以上または日雨量80mmを超過した場合に関係者にメールで警報を通知した。

また、現場には赤色灯及びサイレンを設置し、下表の避難基準を超過した場合に警報を通知し、作業を一時中止するなど安全の確保に努めた。

	要注意	警戒	避難	立入り禁止
基準値	1日1mm以上	1日10mm以上	時間2mm以上を2時間継続 または、1時間4mm以上	1時間10mmを概ねの目安とし 専門家の意見により判断する

総合的な土砂災害対策について（提言）（案）H5. 3. 24総合土砂災害対策検討会より



伸縮計(S-1)



現場で警報を通知する赤色灯とサイレン

警報メール

パソコンの変動量監視画面

②定点監視のためのライブカメラ

地すべり頭部、末端部及び平井川仮排水路が監視できるライブカメラを3台設置し、リアルタイムで監視した。



末端部の映像



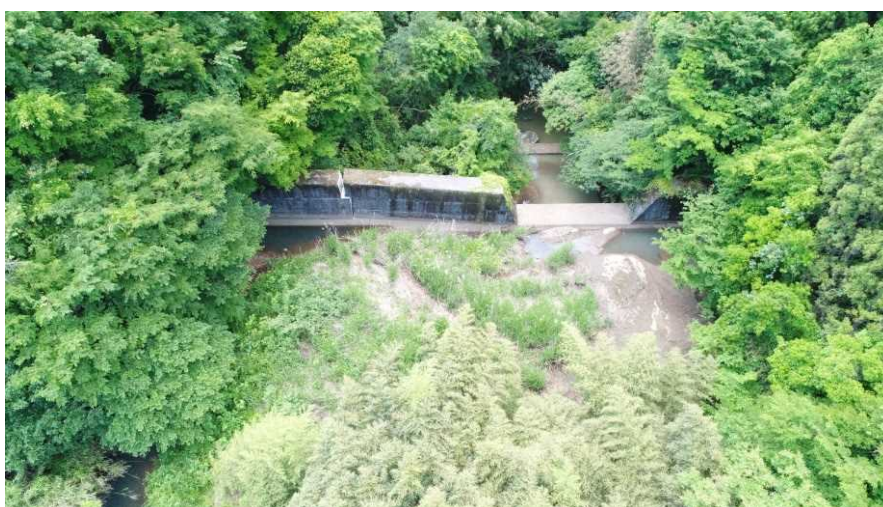
ライブカメラ

③ドローンによる上空からの現地調査

土木事務所職員により、ドローンを使って上空からの現地調査を5月23日から毎日(6月23日からは週2回)実施し、地盤の亀裂や砂防堰堤の変状の状況を監視した。



ドローン撮影状況



ドローン撮影写真